



質問に答える理事者

決算認定審査における理事者質疑 の回答と、委員会の審査意見は下記 の通りです。



(動画時間) 23分
2:13 委員長報告



これから下川町をどうしていくの？

○基金の将来的な投資計画

20億円を超えた基金については、老朽化する役場・消防庁舎などの施設の更新だけでなく、地域課題である農林商工業の振興、人材確保、子育て・福祉分野などの多岐にわたる問題解決にも使いながら、できるだけ基金を増やしていく考えを持って進めていく。

○庁舎等公共施設の更新の考え方

役場・消防庁舎については、耐震化による長寿命化は難しいと考えている。都市・防災機能などを持たせた複合施設も視野に入れ、施設の間所も含めて様々な角度から、先送りせず早い時期に町民とともに考え進めていく。

あけぼの園や山びこ学園などの福祉施設については、福祉医療連携会議で課題等を調査し議論を行っている。利用動向や働き手の確保、経営分析などの予測を立て、戦略的縮小も視野に総合的に判断していく。

○ふるさと納税の今後の考え方

町内企業とも連携し、体験型など返礼品のメニューを拡充させていく。

企業版ふるさと納税の獲得のためには、企業と良好な関係を築くことが重要だと考える。林産業や森林の二酸化炭素吸収によるカーボンニュートラルなど、地域資源を生かした取り組みや、下川町の課題を知ってもらえるよう進めていく。



カーボンニュートラルは、温室効果ガスの排出量を森林の吸収量などで差し引きゼロにする、という意味なんだよ

◆委員会の審査意見

不用額は昨年度に比べて減少し、一定程度評価できる。

積年の課題である人材確保は、待遇改善や有効な施策を検討すべきである。

令和5年度の予算の執行状況はおおむね適正で、今後も町民のニーズに対応した公共施設の統廃合、予算の適正な執行、福祉・医療施設の経営改善や各種人材確保に向けた新たな仕組みづくりなどに期待したい。